

木枯らしが吹いて霧がいつしか雪に変わると、冬将軍という言葉の響きがすり重く感じる季節となる。自然の厳しさが大きな幻の影となつて怪物のように振る舞う冬将軍。辞書を引くとモスクワに突入したナポレオンが「嚴冬と積雪に悩まされた史実に因む冬の異名、冬の厳しさを擬人化したもの」と書かれている。確かにナポレオンのモスクワ遠征は惨憺たる敗北に終わっているが、本当に冬将軍に負けたのだろうか。モスクワ遠征には、ロシヤ側から見たトルストイの『八二年の雪モスクワからの敗走』に詳しく述べられている。史実を味わつて冬将軍の実像を再考してみた。

ナポレオンのモスクワ遠征は、八二年6月24日、ロシア国境のニーメン河の奇襲渡河作戦で始まつた。精銳の近衛師団4万7千を含むおよそ2万人の遠征軍が直線距離でほぼ800km先のモスクワを目指しての長驅の旅立ちをした。初夏の出発だったが次第に真夏の炎熱の下での行軍に変わり、年間で最も多雨な七月のしつく雨でぬかるみと化した泥道に阻まれ、大軍への補給の困難さと飢えと混成軍の弱点をさらけ出した。モスクワまでの半分の地点で敵軍との一度の会戦なしで、すでに半数の兵力を失っていた。果てしなく広がるロシアの大平原に搖らぐ冬将軍の炎熱の陽炎、そのなかにナポレオンの大遠征群が溶け込むように消えていった。モ

スクワ攻防の天王山だったボロジの会戦は双方合せて三万五千人の死者をだして短い夏とともに終わつた。

歓喜のモスクワ入城となつた9月14日には、すでにナポレオン軍は出発時の実に3分の2の兵力を失い、秋の季節の到来とともに勝機はすでに幻と消えた。深まる秋に退くべきか籠城すべきか決断を迫っていたナポレオンに、(○月三日のモスクワに降つた初雪が全てだつた。

すぐに解けたがこの雪を機に冬への恐怖が奔流となつて総退却へと向かわせた。記録では、(○月の末の寒波が襲来とともに雪となり、フランス軍を含む南ヨーロッパから派遣された軍隊にとっては恐怖に変わつた。浮き足だつた退却戦はロシア軍やコサックの追撃で敗走に次ぐ敗走となつた。帰路の半ばをさ迷つて1月の中ごろになると、モスクワの西の丘陵地帯で時にはマイナス十数度となり、夜間はマイナス28度まで下がつたという。冬至にあと一月と迫るこの時期北緯44度付近に位置する戦場の日の出は日に遅くなり、秋の日はつるべ落しのごじく夕暮れは早い。暗さと寒さが決定的な打撃となつた。寒波と追撃を逃れて出発点に戻れたナポレオン軍はわずか5千、精銳の近衛師団ですら百分の一の500人という壊滅的な敗北を被つていた。

一八世紀末から一九世紀初頭にかけてのヨ

ーロッパは小氷期と呼ばれるほどの歴史的な低温期となつていた。一八二年の年末から三年始めてかけての冬はまさにその異常さのまつ只

中であつた。遠征路上のポーランド国境に近い現在のリアニテのヴエルナでの11月の月平均気温が、平年より一・九度低いマイナス〇・九という記録が残つてゐるが、札幌の二月の気温程度の気候で嚴冬とはとても言えない。しかし転して二月の平均気温は平年に比べ八・三度も低いマイナス二・一度、翌三年の1月は五・一度低いマイナス〇・九度となつた。まさに百年か百年に一度の記録的な厳しい冬であった。日本でも淀川が凍り両国の川に氷が流れ、諫訪湖の御神渡りの記録でもおよそ百年に一度あるかなしの異常に早い湖面の結氷と御神渡りが記録されていた。過去に例を見ない記録的な寒さを纏つた冬将軍がヨーロッパ平原を席巻したが、その時はすでにナポレオンは敗れ去つてしまつたあとであつた。

もともと冬将軍という言葉はロシアになかつた。ロシアの自然誌のなかでそれに相当する言葉として登場するのが白い鬱をはやした「ジワルマロス爺さん」である。厳しい寒さや雪や吹雪をもたらす強大な力への恐怖と畏敬から、怪物マロスに嚴寒を擬人化させたもので、まさに冬将軍そのものとなり、中国古代の国(夏か)の炎(えん)帝の対極におかれた。ナポレオンは夏の炎帝の負け、初冬の寒さとコサックに負け最後に冬将軍に息の根を止められたことになつた。

冬将軍の雄はシベリヤ高気圧である。高気圧の最強なものはウラル山脈を越えて西に張出し東西に6千kmにも及ぶ大勢力となり、中央シベ

リヤ高原で記録された 1083.8 hPa が世界で最も高い気圧である。冬将軍の先触れが木枯らし一号、冬将軍のゆるみを瞬ついた春の南風が春一番となり、寒波が次から次と日本海を渡ると日本海側で大雪となる。しがらみを度外視した雪国改造構想では、ヒマラヤ山脈を削つてシベリヤ高気圧を改造してしまおうという案がある。寒気を溜め込む役目のヒマラヤ山脈を削つてしまえば、冬将軍が大勢力になる前に寒気が小出しとなつて移動性高気圧つて離れるので勢いを弱める、これが出来るという発案である。ただしピークを削るだけでも本州ほどの範囲を2000mも削らなければならない。自然の怪物、冬将軍に対抗するには壮大なアイデアが必要となるが実現は絶望的である。